昭和61年11月1日発行 No.286

広報あがつま 11

■発行／赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1 ☎0947(28)2004 ■編集／総務課文書広報係

★町の人口★ 人口10,157(± 0) 男4,815(＋ 1) 女5,342(－ 1) 世帯合計3,403(＋ 2) 61年9月末日現在( )内は前月との比較です

（とじて保存してください）

〝長生きの秘けつ……

ゆっくり食べることじゃ〟

昭和61年度 一般会計予算(44億1,726万円)決まる

＝財政健全化計画に沿って対前年比8.3%増＝

地方自治法219条2項の規定により昭和61年度予算の概要を公表する

赤池町長　**日野喜美男**

本年度一般会計当初予算が9月定例町議会で可決されました。

4月から9月までの6ヵ月間は①前年度の決算見込みで歳入欠かんが多額であったこと。②地方交付税を中心とする一般財源の伸びが歳出の伸びに見合わなかったこと。③財産処分計画が大幅に遅れ財産収入の見込みがたたなかったこと。などの理由により暫定予算を編成していましたが、定例町議会で当初予算を提案できることとなりました。

国、地方とも厳しい財政事情の中で本町の予算編成方針は財政健全化計画に沿った予算編成を基本としています。

予算総額は44億1,726万円で対前年度伸率8,3%。歳入では地方交付税、国、県支出金などの依存財源が80,9%を占めています。歳出では人件費や扶助費、公債費などの義務的経費が40,6%となっています。特に地方債の元利償還に支出される公債費は18,7%と高い数値になっています。

このような厳しい財政環境を十分認識し、「緑と清流、やきものと文化のまち赤池」を目指してきめこまかい行財政運営を推進していきたいと考えております。

★地方債(借り入れ金)の現在高　(単位: 千円)

区分	59年度末現在高	60年度末現在高(見込)
一般公共事業債	943,047	958,494
一般単独事業債	31,417	27,903
公営住宅建設事業債	377,607	400,865
義務教育施設整備事業債	155,876	151,868
災害復旧債	45,708	50,075
厚生福祉施設整備事業債	34,046	31,113
過疎対策事業債	461,009	433,956
地域改善対策事業債	2,577,084	2,573,196
財源対策債	704,792	673,777
都道府県貸付金	1,055,526	1,179,597
一般廃棄物処理事業債	0	19,200
調整債	0	20,000
臨時財政特例債	0	25,000
計	6,386,112	6,545,044

★職員平均給料月額と平均年齢
(特別会計職員を除く)

区分		行政職	労務職
昭和60年4月1日現在	平均給料月額(円)	212,100	181,600
	平均給与月額(円)	231,900	197,600
	平均年齢(歳)	38.0	40.1
昭和61年4月1日現在	平均給料月額(円)	229,500	194,600
	平均給与月額(円)	250,100	210,700
	平均年齢(歳)	38.1	39.7

出算

(単位: 千円、%は全体に占める割合)

民生費 697,238 15.8%

衛生費 250,804 5.7%

労働費 865,742 19.6%

農林水産業費 169,648 3.8%

商工費 6,441 0.1%

消防費 100,056 2.3%

土木費 485,267 11.0%

確かめよう！最低賃金 ―― 最低賃金周知旬間、11月21日～30日

歳予

議会費 71,521 1.6%

総務費 327,056 7.4%

繰上充用金その他 201,201 4.6%

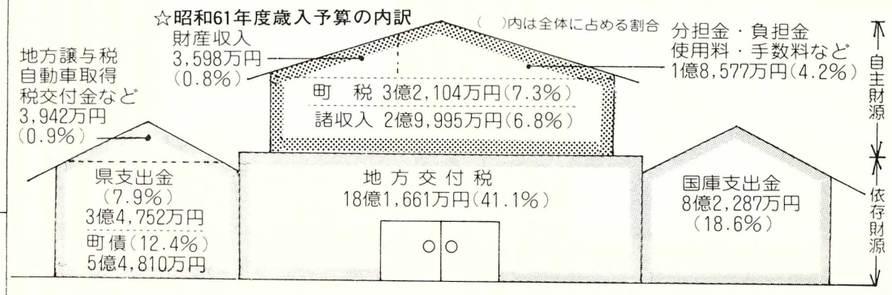
諸支出金 50,004 1.1%

公債費 825,792 18.7%

災害復旧費 90,480 2.0%

教育費 276,010 6.3%

☆昭和61年度歳入予算の内訳



★項目別歳出予算の概要★

■議会費　みなさんが選んだ議員さんの活動に要するお金です。報酬、調査研究費議員共済掛金、議長会などの負担金などに使われます。

■総務費　庁舎内の一般管理、交通安全対策費、公有財産管理費、住民基本台帳などの窓口業務、徴税費、選挙関係費用などに使われます。

■民生費　みなさんの福祉に関する経費に使われます。児童福祉や老人医療、国民年金事務費や隣保館運営費、部落解放や産炭地振興の活動助成金などに使われます。

■衛生費　きれいな環境づくりとみなさんの健康づくりの経費に使われます。赤ちゃん検診、ガン検診、田川地区伝染病組合、斉場組合などの負担金、し尿処理などの清掃費などに使われます。

■労働費　失業対策四事業に使われるお金です。雇用対策と同時に地域に密着した町づくりに大きな役割を果たしています。開就事業では、工場団地周辺の整備など、特開事業では公共用地造成工事が行われます。

■農林水産業費　農林、水産業の振興経費に使われます。農業振興同和対策費として、かんがい排水工事、水産業施設工事、国土調査費、農業委員会経費などです。

■商工費　商工業の振興や観光事業に使われるお金です。町内の街灯電気代、商工会助成金などの経費です。

■土木費　道路の改良工事や町営住宅の建設、管理などに使われます。今年度、町内に18戸の町営住宅が建設されます。

■消防費　みなさんの安全を守る経費に使われます。消防団員の報酬、消防車の購入、田川地区消防組合の負担金などに支出されます。

■教育費　3校の運営費や青少年、子ども会活動などの経費、公民館活動や各種スポーツ大会の経費ならびに総合運動グラウンドや体育館などの運動施設の維持管理費などに充てられます。

■公債費　いろいろな事業をするために、大蔵省や郵政省などから借りたお金の元金、利子の償還に使われます。赤池町は大変高い公債費比率となっており、町財政を圧迫しています。

■諸支出金　開発公社に対する貸付金です。

■繰上充用金　前年度の歳入不足に充てたお金です。

暮らしに生かそう伝統工芸器 ―― 11月は伝統的工芸品月間

千百十三人の長寿のお祝い＝敬老会＝

十月十五日、恒例の一月遅れの敬老会が町民会館で盛大に行われました。

今年の該当者（七十歳以上）千百十三人の内、およそ八百三十人が出席しました。

式典で、日野町長、小松副議長のお祝いの言葉や、記念品贈呈、柴田司一老人クラブ連合会副会長の謝辞のあと、中食をはさんでアトラクションに入り、町内四保育所五歳児のおみこしワッショイ、天郷荘松本たかしさんによる謡曲、養命大学のみなさんの民謡、民舞、木村隆衛さんの歌謡ショー、と次々にくり出される演芸に、会場のお年寄りのみなさんは、満足そうに目を細めて見入っていました。

最後に会場の皆さん達全員による炭坑節の踊りで、敬老会をしめくくりました。

なお町内最高齢者、長末トラさん(97)は、田川市内の病院に入院されていましたが、療養のかいなく他界されました。謹んで御冥福をお祈り致します。「写真は、生前の長末トラさんと、病気見舞におとずれた日野町長」

こちら一足早くの〝敬老会〟

老人ホーム天郷荘

稲穂の取り入れも間近い9月17日、「老人ホーム天郷荘」で敬老会が行われました。会場はお年寄り自ら飾りつけ、福祉センターで司会をしている方城町の香月栄さんの司会進行でおよそ二時間、心のこもった手づくり敬老会を楽しみました。

招待を受けた日野町長は「ベットで寝ていては人生の楽しみはありません。体を大切に、たくさん食べ、大いに遊んで、気楽に人生を楽しんで下さい」とあいさつ。その後、歌や踊り、ゲームなど、もりだくさんのプログラムでなごやかに長寿をお祝いしました。

▲90才以上の代表として記念品を受ける堀　たつのさん(石松)

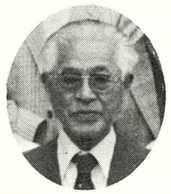
▼来ひんの方々とジャンケンゲームを楽しむお年寄りのみなさん

▼830人のお年寄でにぎわった敬老会

『夏山文庫』を設置

ご遺族が三校に寄贈

8月23日、思いもかけない交通事故により、他界されました故高鶴夏山(高鶴茂勝)さんのご遺族より交通遺児基金にと、町内3校にそれぞれ金10万円が寄せられました。



故 高鶴茂勝さん

各小、中学校では、ご遺族の意志を尊重、「夏山文庫」を設置し、児童生徒の健全育成に役立てることにしました。

投稿

俳句雑考④

三木　春翁

国定公園英彦山には、四季を通じて多くの観光客、登山者、神宮参拝者が登山している。俳人もまた英彦山を道場として、遠近より吟行に訪れている。句碑としては左の三基がある。

杉田　久女

剱して山ほととぎすほしいまま
橡の実のつぶて颪や豊前坊

高浜　年尾

石垣はみな坊跡や蔦紅葉

英彦山神社が神宮に昇格したのは昭和五十年で、翌年七月、記念の俳句大会（比古鈴句会）が、社務所二階の大広間で催された。筑豊各地から百数十人の参会者があり私は幸にして天狗の面を受賞した。五句投句で左の二句と他三句。

英彦谷の深きに草矢放ちけり
下闇の脇宮錆びし鈴の音

英彦山での拙句の一部。

捕中網持つ子の続く英彦の磴
箒目の残る斎庭の橡落葉
英彦谷の一と日の旅に昼寝もし
猪垣の中の稲刈る英彦棚田
みんみんに一息入るる英彦の磴
杉の秀に朝霧残る豊前坊

11月26日～12月2日 —— 秋の全国火災予防運動

お元気ですか⑤ 保健婦です

ガンから家庭を守ろう!!

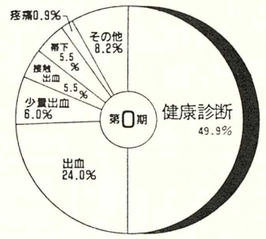
老後を健康に生きよう、と老人保健法ができて5年になります。ガンの検診推進はその中の一つです。ガン制圧の為に町をあげて、力を入れています。

婦人特有のガンは乳ガンと子宮ガンです。幸いにしてこの2つのガンは早期発見しやすく早く治療し何10年とすこやかに生活している人は少なくありません。

子宮ガンは治ゆ率の高いガンで、かかった人の80%は治療し健康になっています。検診によって確実に減りつつあるガンの1つです。逆に乳ガンは増えつづけています。30才を過ぎた頃から増加し、40才、50才と次第に多くの人の体をむしばんでいきます。ですが乳ガンは自己検診でも発見できますし検診も簡単です。早期のガンは進行し長びくにつれて、血液やリンパ液に乗って体の他の場所に転移していきます。早期治療とは「臭い物は元から断たなきゃダメ!!」の言葉どおり根もとから取り除くことです。

赤池町では毎年 190人弱の方々が積極的にこの検診を受けていますが、まだまだ全体の7%位です。早く見つけ早く治療すれば健康になれるのですから、みすみす見逃すことはありません。あなたも積極的に検診を受けて大きな安心を感じてみませんか。

▶子宮頸がん初期発見の動機◀



—— 検診実施月日 ——

○11月19日(水)同和対策中央研修所
午前9時～10時受付

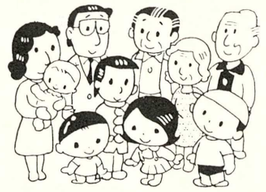
—— 料　金 ——

○各千円（ただし70才以上の方は無料）

—— 対　象 ——

○町内の30才以上の女性の方

議会だより



九月定例議会は九月二十五日から十月四日までの日程で開かれ、一般会計予算、特別会計の決算および補正予算、第二次赤池町総合計画案など十議案が審議され、いずれも原案どおり可決されました。

また、保育所新設に反対する陳情、堀田地区集会所の建設を求める請願など、請願や陳情八件も審議、保育所新設に反対する陳情、堀田地区集会所の建設を求める請願は継続審議となったほか、国鉄第三次廃止対象路線の廃止に反対する請願などは採択されました。ほかに、議員の定数問題に関する調査を行うために、議員全員による特別委員会が設置されました。主な内容はつぎのとおりです。

●赤池勤労者体育センター設置および管理条例

昭和六十年度事業により、雇用促進事業団が施行した町民プール横の「赤池勤労者体育センター」の設置および管理に関する条例が定められました。

管理については、赤池町教育委員会がこれを管理することとなり、使用料等については、別に規則で定められます。

●町有財産の取得

赤池ニュータウン造成計画により、住宅団地造成用地一万四千五百五十平方メートルを、第九、十区から五千百九十二万四千円で買入れるもので、原案どおり可決されました。

●第二次赤池町総合計画

総合計画審議会の答申を受けて、第二次赤池町総合計画の議案が提出され原案どおり可決されました。

計画の期間は、昭和六十一年度から二十一世紀への幕明けの昭和七十五年度までの十五年間で、人の心の豊かさをもとめることを基本理念とし、「緑と清流、やきものと文化のまち赤池」をキャッチフレーズに、まちづくりを推進していくことになっています。

詳しい内容については、来月号の特集としてお知らせします。

●一般質問

（鉱害復旧対策・老人対策）

鉱害復旧対策については、申請窓口業務を町はどの程度行うのか、復旧事業を進めていく時に関係以外の町民に迷惑をかける場合どう対応するのか、の二点について質問がありました。

これに対し、町のかかわる業務は、鉱害地域、件数などの現況の把握をし、申請書をとりまとめて通産局に提出するなどの範囲であること、また、関係以外の町民に迷惑をかけないようにするために行政指導などの手段を講じたいとの回答がなされました。

老人対策については、赤池町の老人人口の割合の状況、シルバー人材センターに対する町当局の考え方、失対事業退職者の任意就労者事業が六十六年度以降なくなることにより働きたい老人に対する雇用策をどう考えるか、などの質問がありました。

これに対しては、人口構造の把握は的確に行っていくこと、老人雇用に対し、シルバー人材センターの必要性のあることなどの回答がなされました。

昭和60年度各会計の決算状況

（単位：千円）

	歳入	歳出	差引額	累積額
町立病院事業	556,685	552,620	4,065	△450,975
国民健康保険事業	430,957	430,697	260	260
上水道事業	217,618	207,220	10,398	△360,930
住宅新築資金等貸付事業	462,765	500,640	△37,875	△ 37,875
老人保健事業	628,127	632,393	△ 4,266	△ 4,266

つれづれに ⑦1

今年始めて赤池橋下流で雛流しを催した時の句。
源流は遠き英彦嶺や雛流す

○峡の明け急に秋めき目覚むなり
○法師蟬大樹にはげし鳴ききそふ
○新涼や豆腐の売り声峡を行く
○奇特なる鈴虫巣箱今年亦
○集大成土井委員長秋一番
○ポンパンと朝の散歩や威銃
○敬老会舞台演出寮母多芸
○秋の潮獲ものとび跳ね地引き網
○飽食の生きる世帯や豊の秋

11月7日までは —— 文化財保護強調週間

待ち合い室

今日、社会的に注目されている成人病の中には、糖尿病、脳血管疾患、心疾患、悪性新生物（ガン）等がありますが、今回は糖尿病についてお話し致します。

糖尿病とは、簡単に申しますと体の中の膵臓と言う臓器があり、ここからインスリンと言うホルモンが分泌されます。このインスリンは、糖をエネルギーとして使うためになくてはならないものであり、血液の中の糖を下げる働きも致します。したがって、このインスリンの分泌が悪くなっている状態を言い、そのまま放置していると体のいろいろな臓器に悪い影響を与える、とても怖い病気のひとつです。

糖尿病になっている人の管理をしたり、その原因を見つけたりするために、尿糖、血糖、糖負荷、ヘモグロビンA1、ケトン体、インスリン、インスリン抗体、C－ペプチド、トリプシン、PSTI、CA19－9、眼底カメラなど聞きなれないとは思いますが、これらの検査を受けることによって、早期発見、治療する事が出来ます。

この患者は全国に二百万人～三百万人とも言われ、年々増加傾向を示し、当赤池町においても、患者、及び予備軍が目立って多く外来、入院患者さんを八～九月にかけてまとめたデーターを表に示しました。

血糖値	人数	%	
80以下	33	5	
80～110	371	56	※
110～160	159	23	
160以上	108	16	

※は正常人の値です。

表からもわかるように糖尿病または、糖尿病の疑いのある患者さんは、全体の五分の二と多くなって居ります。

幸いにも当病院に六月から赴任された自治医大の広瀬先生は、糖尿病にとても熱心に取り組まれており、月に二回は糖尿病教室を開き、住民の皆様に理解を深めていただき、この病気を治そうとしています。是非、この企画を有効に利用して、体の健康作りに役立てていただきたいと思います。

前回、山本先生より検査室にある機器の説明がありましたが、大病院とさほど変わらない機器が数多くあります。これは町民の財産と言っても過言ではありません。食生活が欧米並になっている現在、老令化が進むにつれて、どんどん成人病も増えていくと思います。

年に一度は、かならず健康診断を受けましょう。

赤池町立病院検査技師　伊藤　俊之

障害基礎年金の定期払い
十一月から三ヵ月分ずつ

今年の四月から障害福祉年金は障害基礎年金にかわり、年金額の大幅引き上げや子の加算額が新設されるなど大きく改善されました。

年金支払も年四回となり、二月五月、八月、十一月にそれぞれの前三ヵ月分が支払われます。

次の支払は、十一月十一日で、八月から十月までの三ヵ月分が支払われます。

前回八月の支払いの時は、障害基礎年金に変わった四月から七月までの、四ヵ月分がまとめて支払われました。したがって十一月支払いからは、前回の八月支払いに比べ一ヵ月分少ない額となります。

これは、母子福祉年金から移行した遺族基礎年金も同じです。

年金は分かりにくいものです。少しでも分からないことは、遠慮をせず役場や社会保険事務所に尋ねましょう。

迷信・しきたり・人権・部落問題

昭和問題解説 シリーズ⑦

丙午（ひのえうま）

よく「丙午（ひのえうま）」という言葉を聞かれたことがあると思います。これは干支（えと）にまつわる迷信で、六十年に一度の周期でまわってくる年のことです。この年にうまれた女性は「気が強くて夫を食い殺したり、男を不幸にする」という迷信です。「この世の中にそんなばかなことが…」と思われるかもしれません。

この表は昭和四十年から四十二年までの福岡県下の男女を合わせた出生数です。昭和四十一年は丙午の年にあたっていたわけですが、この数字をみてもわかるように丙午の年には大はばに子どもの出生が少なくなっていることに気づかれることと思います。全国的にも同じようになっています。

ひのえうまの年の福岡県下の男女の出生数

昭和40年	68,603人	100%
昭和41年	54,428人	79%
昭和42年	74,046人	108%

この迷信のおこりは、中国の古い本の中に「丙午の年には国家の変事がおこるかもしれない」と書かれてあるのを、日本では江戸時代の初めに「変事を火事」と解釈したため、丙午の年には火事が多いといわれるようになりました。

そして、有名な八百屋お七の話があってから元禄時代（今から三百年ほど前）に「丙午の年にうまれた女は気がつよく男を食い殺す」と変ってしまったのです。そのため、丙午の年になるとうまれてきた子どもがいたるところで密殺されたり、子どもを流産させるため母親が死んだりして大きな社会問題にもなりました。

現代でも、意識的に出生を制約したり、出生届の日を変えてみたり、妊娠中絶をして子どもの命をうばったりすることがあるようです。また、子どもの出生が翌年に集中したりして受験戦争を一層激化させるという問題にまで発展しています。

11月は ―― 全国青少年健全育成強調月間

なんでも〝ガンバル〟

上野橋のすぐ下にある河川敷野球グランドの砂が、梅雨の大雨のために流されてしまい、使うことができない状態でした。このグランドは昭和五十九年度特定地域開発就労事業の一環として作られたものですが、〝練習ができず困るのは自分達だ〟と、少年野球チーム「上野イーグルス」の子供達が放課後、日頃もちなれたバットやグローブを、スコップ、一輪車にもち替え整備を始めました。つるべ落としの夕陽を真赤なほっぺたで受けとめ、汗を流している子供達の笑顔はすっきり、さわやかでした。

▶グラウンドの整備をする上野イーグルスのナイン◀

『10月廃止』は保留
利用して下さい!!町民の足
＝国鉄バス廃止問題＝

九月号で町内の国鉄バスの二路線（直方～上野峡）・（赤池駅～上野峡）が、十一月のダイヤ改正を期に廃止が予定されているとお知らせしましたが、「町民の足を奪うバス廃止にはどうしても納得できない。なんとか存続を」と、町長、議長、副議長ならびに議員の方々それに地元代表の皆さん達による国鉄九州総局自動車部・九州運輸局への廃止反対の要請がくり返し行われた結果『十月末日廃止』という最悪の事態だけはなんとかさけられました。しかしながら、廃止問題が消えてしまったわけではありません。数多くの人々に利用された国鉄バスを存続するには、町民の方みんなの協力が必要です。利用しましょう、私達の足を―。

赤池町 統一秋祭り

ぬける様な秋空の下、第十二回赤池町統一秋祭りが十月十一日、十二日の両日行われました。

かわいらしい子供山笠六台をふくめた十二台の山笠が、町内へとくり出し祭り気分を盛り上げました。十一日の夜には、中央研修所で、のど自慢大会が催され、各地区から選出された二十三人の方が日頃自慢ののどを披露、また中央研修所前では、金魚すくい、ポップコーンなど数軒の夜店がならび深まりゆく秋の夜長を、たくさんの人達が楽しんでいました。

最後に悲しいお知らせが一つあります。十二日(日)祭りの当日に不幸な事故のため、赤池町のかわいい命の光が一つ消えてしまいました。事故の詳細については省きますが、「大橋舞（まい）」ちゃん（3）、という名前だけ広報誌に載せ哀悼の意を表したいと考えます。これから大きく光輝こうとしていたのに……と思うと本当に残念です。

合掌

このように全く根拠のない迷信が残るかぎり、女性や家庭での苦しみがつづくのではないでしょうか。

これまで、迷信やしきたりなどについて考えてみましたが、わたしたちの生活や他人とのつき合いのしかたを見た場合、この他にもたくさんの迷信やいいつたえ、しきたりなどがあります。そして、多くの人は「関係ない」といいますが、いざそのことに直面すると「親がいうから、世間の手前があるから」という返事がかえってくることが多いのです。しかし、よく考えてみると、世間体というのはつきつめていけば自分自身のことなのではないでしょうか。

わたしたちは、心配事や悩み、苦しみがあったときは、心のよりどころを求めます。しかし、求めたものが迷信やいいつたえ、しきたりであるかぎり、迷う人はますます迷わされてしまうことになってしまいます。

「長いものにはまかれろ」という考え方や姿勢は、物事を正しく考えることができず、正しいことを実行することができなくなってしまいます。

こうした考えは、部落差別をはじめ、いろいろな差別を残していくとともに、新しい差別をつくっていく危（じょう）ぐがあります。

わたしたちがしなければならないことは、人を差別したり、のけものにしたり、悲しい思いにさせるようなしきたりや全く根拠のない迷信などを、わたしたちのまわりからとりのぞいていくことではないでしょうか。

それは、家庭や地域、職場、友人などの中でわたしたちが実践（じっせん）していくことから解消できます。その中からみんなの人権が守られるような生活のしかたがつくられると思います。

できることから一日も早くはじめましょう。

福岡県部落史研究会資料より

今月の解放講座

とき　11月26日（水曜日）
　　午後7時30分から
ところ　同和対策中央研修所

自己を見つめ、暮しを高める解放講座へ、みなさんさそいあって参加しましょう。

田川地区暴力絶滅住民総決起大会 ―― 11月14日(金)午後2時から（田川文化センター）

暮らしの情報

予防と検診

◆**インフルエンザ**①11月4日㈫▽老人ホーム▽上野地区の方②11月18日▽老人ホーム▽上野地区の方③11月21日㈮▽四区公民館▽上野地区の方④11月27日㈭▽市場小学校保健室▽市場地区の方⑤11月28日㈮▽町民会館▽赤池地区の方（時間はいずれも13時30分～15時）

◆**麻しん**▽11月12日㈬▽町立病院▽13時半～15時▽生後18ヵ月～36ヵ月

◆**三種混合**▽11月20日㈭▽町民会館▽13時半～15時▽生後24ヵ月～48ヵ月

◆**老人一般健診**▽11月25日㈫▽同和対策中央研修所▽10時～14時▽項目＝問診、身体計測、尿検査、血圧などの一般診査、異常がある人は、心電図などの精密診査を行います。▽料金、一般診査＝百円、精密診査＝五百円

◆**献血**▽11月28日▽10時～13時、赤池商事前▽14時～16時、赤池町役場（旧第2公民館前）

相談

◆**乳児保育相談**▽11月17日㈪▽町民会館▽10時～11時半▽生後2ヵ月～12ヵ月

知っていますか

十一月一日から、一般道路でもシートベルトを装着しなければ、自動車の運転ができなくなりました。これは助手席に同乗している人も同じです。違反者は違反点一点です。シートベルトを締め安全で快適なドライブを。

ありがとうございました

赤池町社会福祉協議会

【香典返し】戸田秀行（西ヶ丘）

【賛助会費】（一口＝千円）赤池町議会＝18人各5口▽役場課長会＝30人各5口

老人ホーム天郷荘

○林　光雄（直方市）衣類19点ズボン等○日本たばこ産業㈱飯塚営業所（飯塚市）たばこ175個○日本たばこ産業㈱婦人部（飯塚市）お菓子45個○小松篤生（上野）ビール20本、缶ジュース60缶、清酒3升○小松鮮魚店（上野）卵100個○世良鮮魚店（赤池）亀井精肉店（赤池）缶ジュース90缶○池田牛乳店（上野）プリン72個○藤村商店（上野）缶入ドロップ50缶○橋本恵子（八幡西区）缶ジュース60缶○菊水寿し（方城町）金一封○浦田サツキ（赤池）藤村澄子（上野）金一封○筑豊天国社（赤池）成金饅頭100個○長野賢治（上野）缶ジュース30缶○日野喜美男（赤池）金一封○木月睦夫（赤池）缶ジュース60缶○世良保（上野）ナシ15kg、柿3kg、栗2kg○舌間三吾（直方市上境）金一封○舌間精一（直方市上境）金一封○岩見林（直方市上境）金一封○世良保（上野）金一封○高津新助（上野）金一封○早麻弘子（赤池）金一封○山本ヨシエ（赤池）金一封、大庭本店（赤池）清涼飲料水50本○猿畑公民館（赤池）清酒二本『敬称略』

役場職員人事異動

十月十三日付で次のとおり人事異動が行われました。

○住宅課長＝松岡進（町立病院事務長）○税務課長＝世良英次（議会事務局長）○町立病院事務長＝林省吾（住宅課長）○教育委員会課長＝藤村友也（税務課長）○収入役室長＝長谷川浹（教育委員会課長）◎議会事務局長＝山末直美（収入役室補佐）○水道課営業係長＝青木等（町立病院事務係長）○財政係長＝柳川照義（庶務、消防・防災係長）○町立病院事務係長＝日高一雄（水道課営業係長）○庶務、消防・防災係長＝宮崎春美（財政係長）

『係長職以上。◎印は昇格者』

（　）内は旧職名

バレーボール教室
好きな人　大募集

▷対象者＝バレーボールを好きな人なら誰でも大歓迎（初心者㊖歓迎）

▷場　所＝町民会館

▷練習日＝毎週土曜日（午後8時～10時）

▷申し込み、問い合せ先＝赤池町体協バレーボール部☎28－4100

11月福祉センターの行事

【休館日】
2日、3日、10日
16日、24日

【福祉バス運行日】
休日を除く毎日

【演　芸】
入館者へ自由に舞台を提供します

【心配ごと相談日】
7日、17日、27日
午前10時～午後3時

【健康相談日】
第1火曜日（11月4日）

【仏教講演会】
11月13日㈭午前11時～

※ゲートボール場（ナイター可）も自由にご利用下さい。

編集室

稲の刈入時期と合わせ、今月から「広報あかいけ」の担当が変わり新米となりました。体中すべてに力が入りすぎペンは進まず、かくのは汗ばかりの毎日。読みづらいと思いますが、読んでいただいていくらのこの商売。努力〳〵でわかりやすく読みやすい紙面をと考えています。〃しった〃激励〃何卒よろしくお願い致します。――M

五年半の広報担当係から新しい係へ変りました。初めは、発行するだけで精一杯。県外からも優秀な広報紙を取り寄せ、いい広報の良さ、なぜ良いのかがだんだん分ってきました。そこまでたどり着けないことのあせり、ジレンマ、あきらめの繰り返しでした。担当は変っても〃広報マン〃の気持ちは持ち続けたいと思っています。―O

おわびと訂正

十月号五面＝お元気ですか保健婦です＝中、検査実施月日、11月25日㈫13時半～14時半受付とあるのは、11月25日㈫10時～14時受付の誤りでした。おわびして訂正します。

11月は 町県民税4期分の納税月です